

野外ステージ配置図シート 学園祭・大学祭用（記入用）

屋内の図に「寸法・電源・雨天・搬入」の4欄を
足したのが野外用です。
寸法を先に確認してから配置を決めます

バンド名（出演名義）	出演日・会場（学園祭名／ステージ名）	代表者名・連絡先（電話/メール）	編成（人数・パート）
------------	--------------------	------------------	------------

① ステージの寸法（図より先に埋める）

ステージの間口（m） 会場図ではなく実測値	ステージの奥行（m） 3.6mならアンプは横一列	ステージの高さ（mm） 昇降の階段の位置も図に	屋根・テント あり／なし・サイズ
--------------------------	-----------------------------	----------------------------	---------------------

② 配置図（上手・下手は客席から見た向き）

奥（バックライン）

電源の位置を書く →

下手（客席から見て左）

上手（客席から見て右）

← 搬入経路を矢印で

↓ 客席側

set-zu.jp

記号の目安： □ 四角＝アンプ・キーボード・DI ○ 丸＝ドラム ↑ ↓ 上向き・下向き＝マイク（Vo/Cho） ▽ 台形＝返し（モニター）

色分け・「持込」「会場」の注記は自由

③ 電源（屋外はここが本題）

必要な電力の合計（W） 消費電力を足す。定格出力ではない	必要な口数と位置 例：電源×3（下手2・上手1）	電源の出どころ 屋外コンセント／分電盤／発電機（○kW）
---------------------------------	-----------------------------	---------------------------------

④ 雨天時の扱い

判断時刻・判断する人 例：当日16時／実行委員長	B案：テント下の配置 奥行3.6mに収めた形を別紙に	C案：屋内の転用先 体育館／学内ホール（電源の口数が変わる）
-----------------------------	-------------------------------	-----------------------------------

野外ステージ配置図シート 学園祭・大学祭用（記入例）

記入例：4ピース（Vo/Gt/Ba/Dr）
3間×3間（5.4m×5.4m）・H1000mm・屋根なし
合計2,480W → 3.0kW級の発電機

バンド名（出演名義）

ユウグレ・ハイウェイ

出演日・会場（学園祭名／ステージ名）

2026年11月1日（日）／秋桜祭 中庭ステージ

代表者名・連絡先（電話／メール）

田中（090-0000-0000）

編成（人数・パート）

4人（Vo/Gt/Ba/Dr）

① ステージの寸法（図より先に埋める）

ステージの間口（m）

5.4m

会場図ではなく実測値

ステージの奥行（m）

5.4m

3.6mならアンプは横一列

ステージの高さ（mm）

1000mm

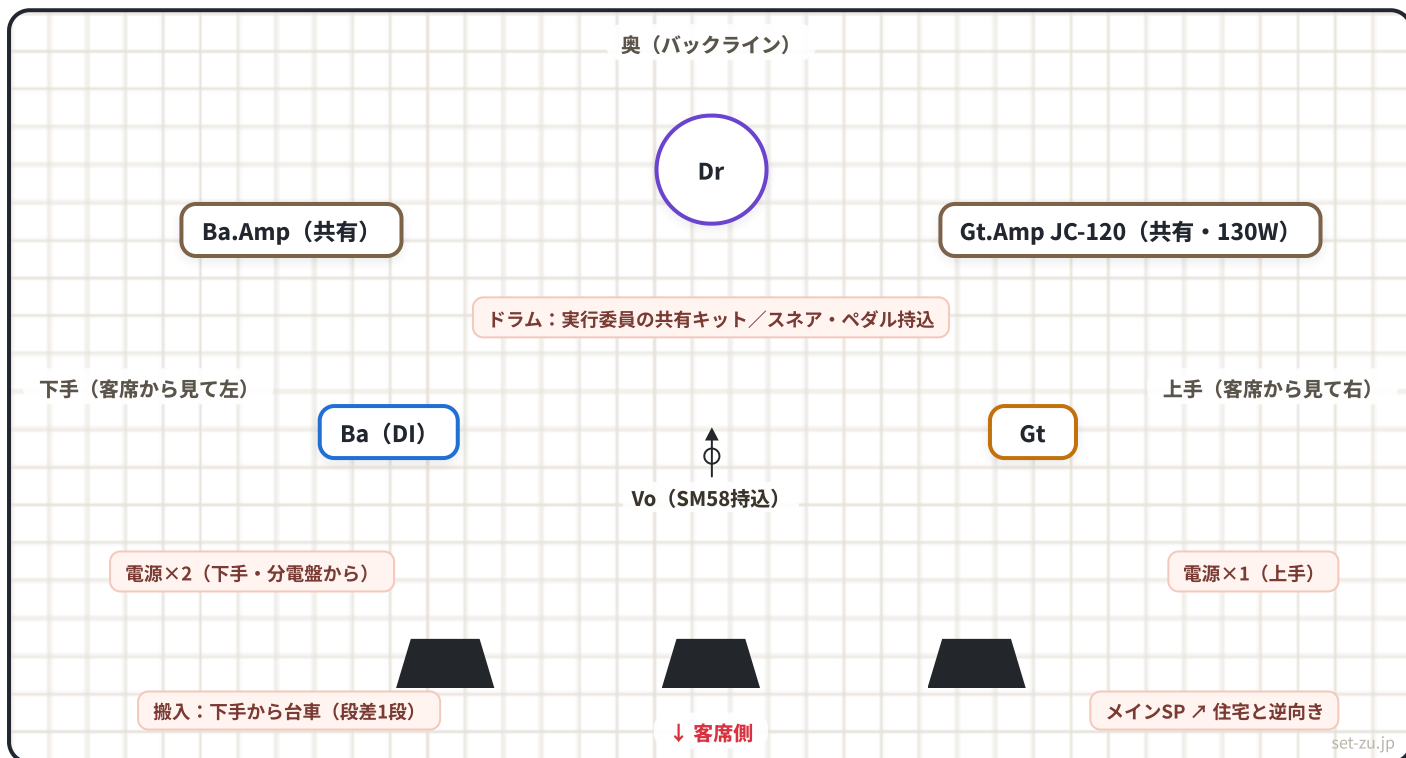
昇降の階段の位置も図に

屋根・テント

なし（雨天は6坪テント）

あり／なし・サイズ

② 配置図（上手・下手は客席から見た向き）



記号の目安： □ 四角＝アンプ・キーボード・DI ○ 丸＝ドラム ♂ マイク（Vo/Cho） ▤ 台形＝返し（モニター）

色分け・「持込」「会場」の注記は自由

③ 電源（屋外はここが本題）

必要な電力の合計（W）

約2,480W

消費電力を足す。定格出力ではない

必要な口数と位置

電源×3（下手2・上手1）

例：電源×3（下手2・上手1）

電源の出どころ

発電機 3.0kW（インバーター・実行委員手配）

屋外コンセント／分電盤／発電機（○kW）

④ 雨天時の扱い

判断時刻・判断する人

当日16時／実行委員長・PA担当

例：当日16時／実行委員長

B案：テント下の配置

2間×3間のテント下（アンプ横一列・返し2本）

奥行3.6mに収めた形を別紙に

C案：屋内の転用先

第2体育館（電源は壁2口のみ）

体育館／学内ホール（電源の口数が変わる）

屋外の電源・雨天早見表

消費電力・系統・発電機・雨天の4段階

定格出力と消費電力は別物です。
足すのは消費電力。
JC-120は出力120Wでも消費130W

① 機材ごとの消費電力の目安

機材	消費電力の目安	数え方のメモ
メインSP2本	200～800W	パワードSP1本で100～400W。卓と同じ系統に入れない
ミキサー・卓	50～150W	デジタル卓は一度落ちると復帰に数分かかる
返し2本	160～400W	パワードの返し1本で80～200W。本数を増やすほど増える
ギターアンプ	130W	JC-120は定格出力120Wでも消費電力は130W（公式仕様）
ベースアンプ	200～500W	ヘッド+キャビ。真空管ヘッドは電源投入時に多く食う
キーボード・同期	100～200W	PC・I/F・パワーサプライ・譜面灯を合算する
LED照明6台	120～600W	LEDパー1台で20～100W。調光卓のぶんも足す
ハロゲン照明	300～500W	1台で300～500W。学校の備品はこの旧式が多い
配信・映像	100～300W	カメラ・モニター。長い延長で電圧が落ちると最初に落ちる

② 超えてはいけない値と決まりごと

決まりごと	値	意味
コンセント1口	1500W（15A）まで	学校の屋外コンセント（防水コンセント）も同じ
1回路（ブレーカー1つ）	2000W（20A）まで	別の口でも同じ回路なら合算。口の数＝使える電力ではない
発電機の選び方	合計W×1.2～1.5	楽器・卓にはインバーター発電機（正弦波）が必須
電工ドラム	全部引き出して使う	巻いたまま通電すると発熱する。定格表示の値を超えない
延長の距離	長いほど電圧が落ちる	90m級の延長で大電力を使うと80V台まで落ちることがある

③ 発電機の容量の選び方

発電機	動かせる構成の目安	注意
1.6kW級	弾き語り+小型PA+LED数台	コンセント口数が少ないので分配が前提
2.8kW級	バンド1組+小型PA+LED照明	学園祭の野外ステージで最も使われる帯
3.0kW級	上に配信・映像を足した構成	連続運転5～6時間。1日もたせたいならこの帯から
5kW以上・三相	大型PA／大型照明／複数ステージ	電気工事業者の手配が前提。学生だけで扱わない

計算例：メインSP 800W + 卓150W + 返し400W + JC-120 130W + ベースアンプ400W + 同期200W + LED照明400W = **約2,480W** → 1系統（2000W）では足りないので**2系統に分ける**か、 $\times 1.3 = 3,224W \rightarrow$ **3.0kW級の発電機**を手配する。

④ 雨天の4段階（配置図をどう変えるか）

段階	判断の目安	配置図をどう変えるか
A：そのまま決行	小雨・風速5m/s未満	配置は変えない。卓・電源・パワーサプライにビニールとブルーシート。タオルを各自1枚
B：テント下に縮小	弱い雨・風速5～10m/s	2間×3間（3.6m×5.4m）の下へ。奥行3.6m＝アンプは横一列、返しは2本、Voマイクを1歩前に
C：屋内へ転用	降水量2mm/h以上・累積50mm以上	体育館・学内ホールの別紙レイアウトに差し替え。電源の口数が変わるので電源欄も作り直す
D：中断・中止	風速15m/s以上・雷・特別警報	テントとトラスは撤去。15～20m/sで中断検討、20m/s以上は即時中止。機材は先に逃がす

⑤ 雨天の持ち物（濡らすと止まる順）

- ☐ ブルーシート（卓・電源・アンプの上掛け用／2～3枚）
- ☐ 養生テープ（ガムテープは床と機材を傷める）
- ☐ 漏電遮断器付きの電源タップ（屋外用）
- ☐ ゴミ袋とビニール（ペダル・パワーサプライを包む）
- ☐ タオル（手と弦の水を拭く／各自1枚）
- ☐ 重り（テント脚・譜面台・マイクスタンド用）

雨天の肝は「濡れたらどうするか」ではなく「**誰が・何時に・何を見て決めるか**」です。当日の朝に揉めるのは、この3つを決めていないときだけ。**判断時刻（例：当日16時）・判断する人・見る数値**を配置図の雨天欄に書いておきます。

提出前チェックリスト 野外ステージ用・20項目

① 送る前に全部✓（4分野×5項目）

寸法と向き

- ☐ ステージの間口×奥行をmで書いた
「2間×3間」ではなく「3.6m×5.4m」で書く
- ☐ ステージの高さと昇降（階段）を書いた
H1000mmなら階段の位置も図に
- ☐ 上手・下手を客席から見た向きで描いた
屋外は仮設なので演者目線と混ざりやすい
- ☐ 客席の向き（どちらが客席か）を矢印で示した
ステージが回る会場では必須
- ☐ スピーカーの向きと住宅の方向を書いた
苦情の予防はここで決まる

電源

- ☐ 機材ごとの消費電力を足して合計Wを書いた
定格出力ではなく消費電力で足す
- ☐ 必要な口数と位置（上手／下手）を書いた
「電源×2（下手）」の形で
- ☐ 1系統2000Wを超えないか確認した
超えるなら系統を分ける
- ☐ 発電機の容量を合計W×1.2～1.5で決めた
インバーター式かを必ず確認
- ☐ 延長コードの長さ和本数を手配した
電工ドラムは全部引き出して使う

雨・風

- ☐ 判断時刻・判断する人・見る数値を決めた
例：当日16時／実行委員長／降水量と風速
- ☐ テント下の縮小レイアウトを別に描いた
奥行3.6mに収まる配置を先に作る
- ☐ 屋内転用先と、その図を用意した
体育館は電源の口数が変わる
- ☐ ブルーシート・ビニール・養生テープを用意した
卓と電源を最優先で守る
- ☐ 連絡手段（中止の告知先）を決めた
出演者・来場者・近隣の3方向

当日の運用

- ☐ 搬入経路と機材置き場を図に書いた
段差・階段の幅まで
- ☐ 転換時間と出演順を実行委員と共有した
屋外は転換が屋内より長くなる
- ☐ 音を落とす時刻を出演者全員に伝えた
最後の組だけが知らないことが多い
- ☐ 近隣への事前周知を済ませた
掲示とポスティングは1～2週間前
- ☐ 撤収の担当と順番を決めた
電源を落とす順＝卓→アンプ→電源

② 音量と近隣配慮

項目	値・目安	意味
環境基準（住居地域）	昼55dB／夜45dB	法の基準値。ここを守って演奏するのは現実には不可能
野外ステージの運用例	ステージ正面で最大85dB以下	都立公園の誓約書の例。超えたら主催がその場で下げる
時間の区切り	18時以降は音を落とす	拡声機の条例は20時～翌8時を制限。学内規定はさらに早い
近隣への事前周知	1～2週間前に掲示とポスティング	苦情は「音の大きさ」より「知らされていないこと」で起きる

③ 搬入・導線の欄

書く欄	何を書くか	抜けると起きること
搬入経路	トラック／台車が通る道を矢印で	段差・階段・スロープの位置と幅を書く
機材置き場	ステージ横か裏に1枠	置き場が無いと通路に積まれ、通行止めになる
電源の位置	分電盤・発電機・屋外コンセント	ケーブルが横切る場所は養生する箇所として書く
袖・待機	次の出番が待つ場所	屋外は袖が無いのでテントかパイロンで作る
昇降	階段・スロープの位置	H1000mmのステージは階段なしでは上がれない

④ 雨天の段階とファイル名

雨天の4段階（どこで何を变えるか）

- ・A：そのまま決行 小雨・風速5m/s未満
- ・B：テント下に縮小 弱い雨・風速5～10m/s
- ・C：屋内へ転用 降水量2mm/h以上・累積50mm以上
- ・D：中断・中止 風速15m/s以上・雷・特別警報

ファイル名の型

バンド名_配置図_学園祭2026.pdf

実行委員は何十組ぶんも受け取ります。日付とバンド名が入っていない図は探せません。